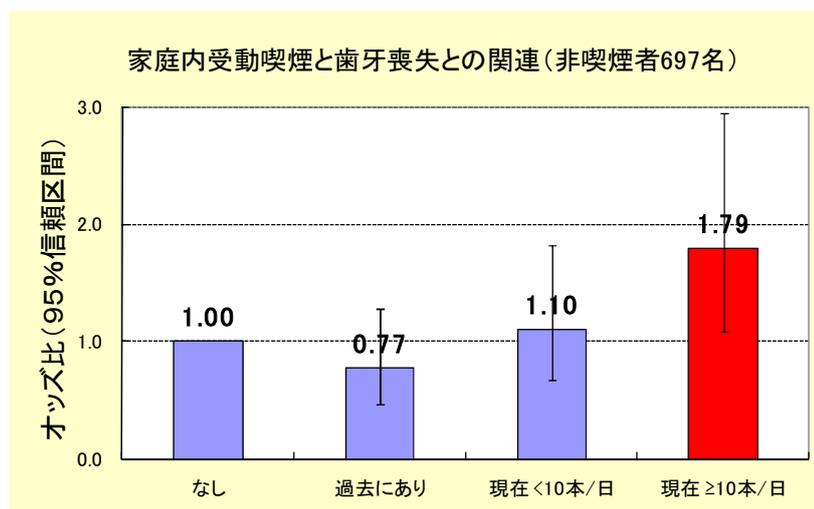


大阪母子保健研究ベースラインデータの結果 能動喫煙、受動喫煙と歯牙喪失との関連

背景：これまで多くの研究で、喫煙が虫歯、歯周病及び歯牙喪失と関連があることが報告されています。しかしながら、受動喫煙との関連については、ほとんど報告がありません。

方法：大阪母子保健研究のベースライン調査に参加した 1002 名の妊婦さんを対象としました。今までに 1 本以上永久歯を抜歯したことがある場合を「歯牙喪失あり」と定義しました。年齢、ベースライン調査時妊娠週、子数、家計の年収、教育歴及び BMI を交絡因子として補正しました。受動喫煙との関連では、非喫煙者（697 名）のみで解析しました。

結果：1002 名の妊婦さんのうち、256 名で歯牙喪失がありました。1 日 15 本未満の喫煙及びブリンクマン指数で 160 本一年以上の喫煙では、歯牙喪失ありの人が有意に多くなりました。また、非喫煙者における



受動喫煙と歯牙喪失との解析では、家庭で 1 日あたり 10 本以上の間接喫煙の曝露を受けている人では、歯牙喪失ありの人の割合が有意に高くなりました。一方、職場での受動喫煙と歯牙喪失との間に、有意な関連を認めませんでした。

結論：能動喫煙、受動喫煙ともに歯牙喪失と有意に関連していることがわかりました。受動喫煙も能動喫煙と同じように、歯牙喪失のリスクを高めるのかもしれない。

出典： Tanaka K, Miyake Y, Sasaki S, Ohya Y, Miyamoto S, Matsunaga I, Yoshida T, Hirota Y, Oda H; Osaka Maternal and Child Health Study Group. Active and passive smoking and tooth loss in Japanese women: baseline data from the osaka maternal and child health study. *Ann Epidemiol.* 2005; 15: 358-364.